



2026年度標語 「大丈夫!」自分のルールは 事故の元

10月度標語 「守る」「続ける」「伝える」で絶対なくそう 過去の事故

全国安全衛生週間標語 ワークライフバランスに意識を向けて ストレスチェックで健康職場

安全衛生活動に向けてのトップメッセージ

(永島会長第14回定期大会挨拶より)

最も根源的な労働条件である安全衛生について触れたいと思います。この1年間も残念ながら、加盟組合において業務上死亡災害が2件、通勤途上死亡災害が3件、火災事故が1件報告され、重大事故の発生が続いています。また、メンタル不調による30日以上休業者のUAゼンセン見舞金申請が2,926件(昨年2,621件)となり、メンタルヘルス対策は喫緊の課題となっています。

組合員の「ゼロ災害・ゼロ疾病」を実現するために、UAゼンセンでは「労働安全衛生活動の手引き」などにもとづき、年間活動実施計画を策定して活動しており、本年度は事業場における安全衛生管理体制を整備し、労働組合が積極的かつ自主的に安全衛生活動に参画していくことを目標としています。時々刻々と変化する職場環境下において、組合員の「命」はもとより、「安全」と「健康」を確保するために、都道府県支部、部門、本部が連携のうえ、加盟組合の皆さんとともに安全衛生活動のさらなる充実強化をはかって参りたいと思います。すべての組合員が生きがいと働きがいをもって取り組むことのできる快適な職場環境づくりを進めていきましょう。



UAゼンセン「2026年度 労働安全衛生セミナー」

1. 日時・開催方法

日 時	会 場	定 員
11月12日(水) 14:00~17:00	ゼンセン本部会館 2F大会議室 Web配信(Zoomウェビナー)	40名 —

2. 内容(内容は多少変更となる場合がありますので予めご了承ください。)

I. 職場におけるこころの健康づくりについて(仮題) ～労働者の心の健康保持増進のための指針～ 講師:厚生労働省
II. 加盟組合の事例紹介 ～ストレスチェックの対応について(仮題)～
III. メンタルヘルス対策における職場環境改善の重要性について(仮題) 講師:大原記念労働科学研究部研究員(医師) 佐野 友美氏
IV. グループワーク ※会場参加者はグループワークになることをご了承ください。 職場環境改善の具体的進め方について(仮題)

※詳細は、UAゼンセン本部第18号を参照のこと。

UAゼンセン 2026年度 安全衛生標語

表彰	作品	氏 名	単組・支部
最優秀賞	「大丈夫!」自分のルールは 事故の元	川嶋 正次さん	明和グラビア労働組合
優秀賞	あ朝起きて、い『行きます』と、う謳って家出た仲間には、え笑顔で必ず、お『お帰り』を聞かせる、よ	山中 正樹さん	クラレ労働組合・西条支部
	気を付けよう心の傷も労災です	水谷 勢子さん	ダイエーユニオン・甲南店支部
佳 作	「守る」「続ける」「伝える」で絶対なくそう 過去の事故	田中 大地さん	明和グラビア労働組合
	「まあいいか」は危険のサイン 見逃さないで「念のため」	細井 舞さん	花王ビューティプランズ カウンセリング労働組合・関越支部
	決めたこと 守る勇気と続ける努力 ルールを守ってゼロ災害	下野 正礼さん	明和グラビア労働組合
	ちょっと変 その気づきこそ救いの手 仲間とケアする メンタルヘルス	河野 和枝さん	ダイエーユニオン・今津店支部
	高めよう 小さな異変に気がつく感覚 KY生かしてゼロ災害	山田 純裕さん	帝人労働組合・三島支部
	睡眠、栄養、飲み過ぎない 自分で整え 安全労働	春山 幸博さん	東京応化工業労働組合・阿蘇支部
	何気ない 会話で守ろう みんなの健康	飯島 聖也さん	ダイエーユニオン・多摩センター店支部
	心のゆとり 社員の笑顔が シンボルマーク	大高 清美さん	花王ビューティプランズ カウンセリング労働組合・関越支部
	もう一度 初心に戻り 労災ゼロ!!	中川 加奈子さん	全イミズ労働組合・久留米支部
	違いを叩き合うのではなく称え合う 互いを尊重し共に成長する職場	丹藤 有紀さん	クラシエ労働組合・東日本支部

応募総数 2026年度 1,603件(内訳:製造1,046、流通463、総合サービス94) (参考)2025年度 1,219件(内訳:製造815、流通283、総合サービス121)

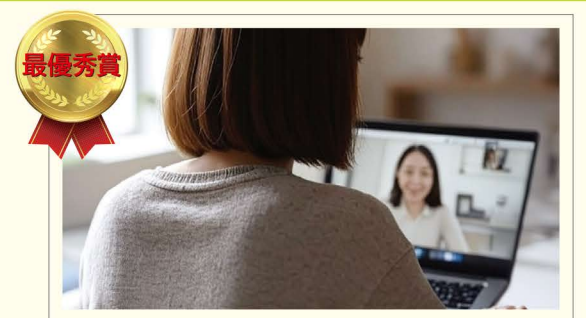
UAゼンセン 2026年度 安全/衛生フォト



ダスキン労働組合九州支部 上谷 真弓さん

「始業前は準備体操を!」

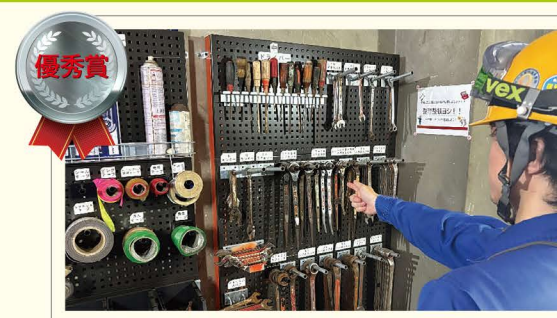
私は大丈夫!思い込みと過信が思わぬ労災に繋がります。始業前の準備体操はしっかりと実施しましょう!



ダイワボウ労働組合本社支部 乾 真樹さん

「ココロも繋がっているよ」

リモートワークで直接会えなくても健康・メンタルの管理は大事。ちょっとした声かけと表情から読み取る気配りを。



大阪ソーダ労働組合水島支部 瀬戸 大貴さん

これでいつでも必要な工具を取り出すことができます。安全な作業を実施するためのKYに費やす時間が取れるようになりました。



クラシエ労働組合高岡支部 中島 久夫さん

研究所では負傷・体調不良・災害・熱中症等に備え、様々な備品を常備しています。使用期限の管理、保管場所の周知徹底をし、常に万が一に備えています。

応募総数61件(内訳:製造35、流通3、総合サービス23)